

## 令和元年度 地域文化功労者表彰 被表彰者一覧

○表彰方法 「地域文化功労者表彰式」にて文部科学大臣から授与

日時：令和元年11月26日（火） 15時30分～17時30分

場所：京都府立府民ホール アルティ（京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1）

氏名	性別 年齢等	写真	団体歴・受賞歴等	功績の概要
<p style="text-align: center;">ただ ひでお 多田 英夫 ただ りゅうえん (多田 龍淵)</p> <p style="text-align: center;">永平寺町</p> <p style="text-align: center;">芸術文化・書道</p>	<p>男</p> <p>79歳</p>		<p><b>【主な団体歴】</b> 読売書法会理事（H12.2～現在） 福井県書作家協会理事長（H15.4～H21.3） （社）福井県文化協議会専務理事・事務局長（H20.6～H24.5） 日本篆刻家協会代表理事（H18.4～H28.1） 同副理事長（H28.1～現在） 日本書芸院参与（H19.4～現在）</p> <p><b>【主な受賞歴】</b> 福井県文化賞（H23.12） 県政功労者知事表彰（H28.2） 読売書法展特選（S63.8） 日本書芸院展日本書芸院大賞（H4.2） 日本書芸院展史邑賞（H9.4、H10.4） 日展入選（S63.11 以後11回入選）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県書作家協会理事長、日本篆刻家協会副理事長等の要職を務め、長年にわたり県書壇の発展と人材の育成に尽力</li> <li>・日展、日本書芸院、読売書法展など中央書展に篆刻の意欲溢れる作品を出品し、日本書芸院大賞など大きな賞を受賞</li> <li>・中国との篆刻交流展に出品するなど国際的に活動し、中国殷代からの古代文字を素材に福井大学でも指導するなど後進の育成に尽力</li> <li>・（社）福井県文化協議会専務理事・事務局長を務め、本県芸術文化全般の振興に尽力しており、本県書道会の重鎮として文化振興に果たした功績は極めて大きい。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">おおもりむつきしんじ ほぞんかい 大森睦月神事 保存会</p> <p style="text-align: center;">福井市</p> <p style="text-align: center;">文化財保護</p>	<p>昭和 40年 設立</p>		<p>「睦月神事」が県の無形民俗文化財に指定（S28.3）</p> <p>記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択（国選択無形民俗文化財）（S45.6）</p> <p>「睦月神事」が国の重要無形民俗文化財に指定（国指定重要無形民俗文化財）（S53.5）</p> <p>福井県文化賞（H23.12）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会は昭和40年に設立され、54年にわたり神事を継承</li> <li>・睦月神事は、五穀豊穡・天下泰平などを祈願する神事で、4年に1回2月の第2日曜日または第3日曜日に賀茂神社に奉納される。鎌倉時代から約800年の伝統を持つといわれ、中世芸能の生きた姿を見ることがができる。</li> <li>・往時は、賀茂神社の氏子8ヶ村が2村ずつ組んで、回り番で毎年神事を奉納してきたが、担い手不足等により、現在は大森町のみが4年に1度奉納</li> <li>・神事を引き継ぐ若者が少なくなっている中、地域の力を結集して伝統を守り続けており、無形文化財の伝承に多大な貢献</li> </ul>